

## 京都市小学校教科書選定委員会 答申

算数科について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

### 選定の観点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。
- 3 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 数学的に考える資質・能力の育成に向け、身に付けた知識や技能を活用する場面を取り入れるなど数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動が展開しやすいこと。
- 5 単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。
- 6 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 7 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

## 算数科

### 調査研究の結果の概要

#### ■東京書籍「新しい算数」

問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方が分かりやすく丁寧に可視化されており、問題解決の展開を通して、基礎的・基本的な概念の育成に繋がるよう工夫されている。

本時に働かせた見方・考え方を （虫めがねマーク）と下破線で表している。また、3年生以上には「考える力をのばそう」を、4年生以上には「数直線の図を使って考えてみよう」をそれぞれ設定し、問題に対して図や表、式に表して考えたり伝え合ったりすることができるようになっており、優れている。

巻頭には、「学びのとびら」で学習の進め方やノート作りの仕方が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっているほか、「今日の深い学び」で自分と他者の考えを比較・検討し、多様な考えに触れることで、自分の考えをより最適なものに変容させるような手立てにもなっており工夫されている。

各単元の導入場面には、児童の対話から単元全体の課題を発見する工夫がされており、問題発見・解決的な学習が展開しやすいよう工夫されている。

単元冒頭の「単元プロローグ」で既習事項を振り返ることで定着度を確認できるようになっており、さらに単元末には、単元で働かせた数学的な見方・考え方を振り返り、価値付けする「つないでいこう算数の目」や、巻末に既習事項の「ふりかえりコーナー」が設定されているなど、系統性・発展性に配慮した構成となっており、工夫されている。

#### ■大日本図書「たのしい算数」

既習事項との関連を図りながら学習が広げられるよう工夫されているが、情報量が多すぎる単元、抽象化までの過程に丁寧さが薄い単元が見られるため、概念の意味理解の習得が難しい。

常に使いたい見方・考え方はキャラクターで、問題ごとに使い分けるものは「ひらめきアイテム」で設定し活用できるように工夫されている。4年生以上の巻末「数直線図のかき方」では、問題場面を数直線図に表現して式を求める力を身に付けることができるよう工夫されている。

巻頭には、「算数の学び方」で学び合い方やノートの書き方、話し方や聞き方等が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっている。また、「じっくり深く学び合おう！」では、ページをめくことで解決方法や話し合いの様子が見える作りになっており、解決の手がかりを児童自ら粘り強く考えることができるほか、多様な手がかりを児童自らが選択することができるよう工夫されている。

各単元の導入に、日常生活から児童自身が疑問や課題を見出し、主体的に取り組めるような題材をイラストで提示するなど、問題に対して見通しを持ちやすい構成になっており、工夫されている。

巻末にこれまでの学習が身に付いているかチェックできる「〇年の復習」が設定されているほか、巻頭には、数学的な見方・考え方を集めた「ひらめきアイテム」が示されており、系統性・発展性に配慮された構成となっており、工夫されている。

## ■学校図書「みんなと学ぶ 小学校算数」

数、量、図形の基礎的・基本的内容に重点化された構成であったり、既習事項を活用した体験や活動を重視したりするなど、発達段階に応じて、概念や原理の習得ができるよう工夫されている。

見方・考え方を使う典型的な場面で「考え方モンスター」を提示しており、考えたりまとめたりする際に使うことができるよう工夫されている。また、3年生以上には「図や表を使って問題を考えよう」が設定されており、問いを図や表に表す方法を提示することで、問題解決に当たって、系統的に学習ができるようになっており優れている。

巻頭には、「みんなと学ぼう！算数の学び方」として算数科における学び方やノートの書き方、また、「算数で見つきたい！考え方モンスター」として算数科の学習に必要な見方・考え方等が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっている。また、他者との対話が想定される場面では、対話の場面のイラストを示し、話し合いながら学習を進めることをイメージしやすいよう工夫されている。

各単元の導入場面では、既習事項を生かし、日常生活や身近な場面などから問題発見する「？を発見」が設定されているため、問題発見・解決的な学習が展開しやすくなっており、工夫されている。

学習内容を「ふりかえろう つなげよう」として、領域ごとにまとめて統合的に捉え、次の学びへの興味・関心につなげている。また、上巻には前学年で見つけた見方・考え方を示すなど、系統性・発展性に配慮された構成となっている。さらに、単元末には「？をかいけつ」「つなげたいな」を設定し、新たな疑問を促す工夫がなされている。

## ■教育出版「小学算数」

学習の系統性を踏まえ、スパイラルに学習を重ねながら概念や見方・考え方を広げたり、深めたりできるよう工夫されているが、解決の過程の図に統一感が見られない単元もあり、概念の意味理解の習得が難しい。

巻頭の「算数で使いたい見方・考え方」や毎時の「なるほど！」では、キャラクターのセリフで見方・考え方を表現し、以降の学び合いの場面でもそれらの言葉を使って学び合えるようになっていく。また、2年生や3年生では、テープ図と数直線の見方・書き方、演算決定のときの活用の仕方を指導する準単元を設けたり、巻末に「学びの手引き」を掲載したりして、思考・表現の道具として定着できるよう工夫されている。

巻頭には、「みんなで算数をはじめよう！」で、学習の進め方や話し合い方、ノートの書き方等が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっている。また、単元1～3で学び方のモデルページが示されており、多様な考えのつなげ方、広げ方、深め方を身に付けられるよう工夫されている。

「はてな」、「なるほど」、「だったら」という児童の思考の流れで学習が構成されているほか、見通しを持って学習を進めることができるよう設定されているため、問題発見・解決的な学習が展開しやすくなっており、工夫されている。

単元末の「学んだことを使おう」や学年末の「算数を使って考えよう」では、日常的な場面を想起させる問題が設定されている。さらに、巻末には既習事項を振り返る「学びのマップ」が参照できるなど、系統性・発展性に配慮された構成となっており、工夫されている。

## ■新興出版社啓林館「わくわく算数」

児童の発達段階や内容の系統性に考慮するなど、教材や展開の仕方に工夫されており、特に、数図ブロックの配置や具体物操作、観察、数学的な考え方を働かせた問題解決等の体験学習で、細かいステップを踏んで知識・理解が確実に身に付くよう配慮されており、優れている。

価値付けたい見方・考え方にはマーカーを付して強調し、キャラクターのセリフとして表現されているほか、2年生以上には「見方・考え方を深めよう」の単元を設定し、図や表などに表して考える問題に対して、図や表、式に表して考えたり伝え合ったりすることができるよう工夫されており、優れている。

巻頭には、「教科書の使い方」や「算数のとびら」で学習の進め方や話し合い方、ノートの手書き等が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっている。また、全ての主問題において、「めあて」と「まとめ」を明示するとともに、登場人物の対話場面を明示することで主体的・対話的な学びを促す手立てとなっており、工夫されている。

単元の冒頭に日常生活や既習の学習と関連付けて、児童自らが課題意識や見通しを持って学習に取り組める場面が設定されているほか、日常生活から問題を見出すなどの数学的活動が積極的に取り入れられ、「めばえ」「めあて」「まとめ」「たしかめよう」「ふりかえろう」と問題発見・解決的な学習が展開しやすくなるようになっており、優れている。

既習事項や日常生活から学びが展開できるよう、単元開始時には「じゅんぴ」が設定されているほか、巻末には既習事項を確認することができる「学びをつなげよう」が示されているなど、系統性・発展性に配慮された構成となっており、工夫されている。

## ■日本文教出版「小学算数」

数の意味や表し方、計算の意味、形の意味や性質など、概念を抽象化・一般化する過程が丁寧に扱われているほか、巻末において数学的活動を促すなど、体験的な実感が伴った活動を通して、数・量・図形の感覚が豊かになるよう工夫されている。

めあての近くには、見方・考え方が示されており、数学的な表現や言語活動が充実するよう工夫されている。また、4年生以上の巻末の「よみとろう あらわそう」では、言葉、数、式、図など数学的な表現の相互関連を整理する内容ははじめ、テープ図や数直線図の読み方、書き方について、系統的に整理し、児童が図を使いこなせるよう工夫されている。

巻頭には、「さあ、算数の学習をはじめよう！」で学習の進め方やノート作り、教科書の使い方等が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっている。また、「自分で みんなで」では、自分の考えを伝え合い、話し合っって学び合う様子を示すことでイメージできるよう工夫されている。

結果や方法の見通しを立てたり、考えたことを話し合ったりするための着眼点を「算数で使いたい見方・考え方」や児童のセリフで示されているほか、複数の考え方から、その問題解決に使える考え方を選ぶ活動も取り上げられており、問題解決に至る過程が工夫されている。

単元に入る前の問題演習のページ「次の学習のために」では、既習事項との関連が明記されているほか、巻末には既習事項を整理した前学年までに学習したことが示されているなど、系統性・発展性に配慮された構成となっており、工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

## 算数科

## 観点別・視点別評価

「◎」優れている 「○」標準的 「△」やや劣る

| 選定の観点 |                                                                                                                                                            | 選定の視点                                   | 東京書籍 | 大日本図書 | 学校図書 | 教育出版 | 啓林館 | 日本文教 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|------|-------|------|------|-----|------|
| 1     | 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。                                                                                                                 | 1 単元の配列や内容の選択                           | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 2 反復や補充のための問題の充実                        | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 3 基礎的な概念の理解を深める工夫                       | ○    | △     | ○    | △    | ◎   | ○    |
| 2     | 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。                                                                             | 1 数学的な思考（見通しをもち筋道立てて考える）を促す工夫           | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 2 数学的な表現活動や言語活動の充実                      | ◎    | ○     | ◎    | ○    | ◎   | ○    |
| 3     | 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。                                  | 1 探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫               | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 2 発展的な学習活動を促すための工夫                      | ◎    | ○     | ◎    | ○    | ◎   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 3 ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫 | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
| 4     | 数学的に考える資質・能力の育成に向け、身に付けた知識や技能を活用する場面を取り入れるなど数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動が展開しやすいこと。                                                                                 | 1 問題発見・問題解決の過程の充実                       | ○    | ○     | ○    | ○    | ◎   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 2 数学的な見方・考え方を育む工夫                       | ○    | ○     | △    | ○    | ◎   | ○    |
| 5     | 単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの観点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。                                                                  | 1 単元構成の系統性・発展性                          | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 2 他教科や教育課題等との関連                         | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 3 他校種との接続                               | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 4 家庭・地域との連携                             | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
| 6     | 基本的人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。                                                                                        | 1 人権教育の推進                               | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 2 道德教育の推進                               | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
| 7     | 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。 | 1 文字や写真、図表、挿絵の色や大きさ等                    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 2 装丁や紙面のレイアウト及び造本の堅牢さ                   | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 3 用紙、インク等の環境面への配慮                       | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |
|       |                                                                                                                                                            | 4 ユニバーサルデザインの視点                         | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |

## 【算数】観点別資料

### 【選定の観点１】

基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

| 発行者名                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 東京書籍                                                                                                                                                                                                                                                                  | 4 大日本図書                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 11 学校図書                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 17 教育出版                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 61 啓林館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 116 日本文教出版                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>○単元末に設定されている「たしかめよう」、「つないでいこう算数の目」では、基礎的・基本的な知識・技能の習得を促すため、学習内容の理解度を確保できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末オプション教材「新しい算数プラス」に本文の練習問題とリンクした補充問題が設定されており、個の習熟度に応じて反復・補充が取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方が分かりやすく丁寧に見えられており、問題解決の展開を通して、基礎的・基本的な概念の育成に繋がるよう工夫されている。</p> | <p>○単元末に設定されている「たしかめ問題」では、基礎的・基本的な知識・技能の習得を促すため、はじめに「しっかりチェック」で用語や計算の仕方など基礎・基本が確認できるよう工夫されている。</p> <p>○毎時間の適用問題や、それに対応した巻末の補充問題「プラス・ワン」が充実しているほか、単元ごとに「ふりかえろう」が設定されており、振り返りがしやすいよう工夫されている。</p> <p>○既習事項との関連を図りながら学習が広げられるよう工夫されているが、情報量が多すぎる単元、抽象化までの過程に丁寧さが薄い単元が見られるため、概念の意味理解の習得が難しい。</p> | <p>○単元末に設定されている「できるようになったこと」や「考え方をマスターでふりかえろう！」では、基礎的・基本的な知識・技能の習得を促すため、学習内容の理解度を確保できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「ほじゅう問題」と「ふかめよう」には様々な問題が設定されており、学習の到達度に応じて苦手な分野を克服するなど意欲的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○数、量、図形の基礎的・基本的内容に重点化された構成であったり、既習事項を活用した体験や活動を重視したりするなど、発達段階に応じて、概念や原理の習得ができるよう工夫されている。</p> | <p>○単元末に設定されている「ふり返ろう」、や「たしかめよう」では、基礎的・基本的な知識・技能の習得を促すため、学習内容の理解度を確保できるよう工夫されている。</p> <p>○単元間の「復習」で既習事項を確認することができるほか、巻末に習熟度に応じた学習に使える「ステップアップ算数」を設け、基礎・基本の学力が確かなものになるよう工夫されている。</p> <p>○学習の系統性を踏まえ、スパイラルに学習を重ねながら概念や見方・考え方を広げたり、深めたりできるよう工夫されているが、解決の過程の図に統一感が見られない単元もあり、概念の意味理解の習得が難しい。</p> | <p>○単元末に設定されている「たしかめよう」や「ふりかえろう」では、基礎的・基本的な知識・技能の習得を促すため、学習内容の理解度を確保できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「じゅんぴ」で既習事項の定着状況を確認し、次の「もっと練習」でより発展的な内容が設けられているなど、習熟度や個に応じて学習内容を選択し、反復・補充が取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○児童の発達段階や内容の系統性に考慮するなど、教材や展開の仕方に工夫されており、特に、数図ブロックの配置や具体物操作、観察、数学的な考え方を働かせた問題解決等の体験学習で、細かいステップを踏んで知識・理解が確実に身に付くよう配慮されており、優れている。</p> | <p>○単元末に設定されている「わかっているかな」や「たしかめよう」では、基礎的・基本的な知識・技能の習得を促すため、学習内容の理解度を確保できるよう工夫されている。</p> <p>○単元前に既習事項を確認する「次の学習のために」を設定するとともに、単元後に学習内容を振り返る「たしかめよう」や巻末の「しっかりチェック」を設定し、繰り返し学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○数の意味や表し方、計算の意味、形の意味や性質など、概念を抽象化・一般化する過程が丁寧に扱われているほか、巻末において数学的活動を促すなど、体験的な実感が伴った活動を通して、数・量・図形の感覚が豊かになるよう工夫されている。</p> |

【選定の観点2】

習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。

| 発行者名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 東京書籍                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 4 大日本図書                                                                                                                                                                                                                                                                       | 11 学校図書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 17 教育出版                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 61 啓林館                                                                                                                                                                                                                                                             | 116 日本文教出版                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>○単元冒頭で提示された単元全体の学習課題から既習事項を活用して学びを深め、次の学習を創造しながら学習を進める構成となっている。また、既習の活用をサポートする「同じように考えると」を示すことで、見通しをもって問題解決に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○本時に働かせた見方・考え方を （虫めがねマーク）と下破線で表している。また、3年生以上には「考える力をのばそう」を、4年生以上の巻末には「数直線の図を使って考えてみよう」をそれぞれ設定し、問題に対して図や表、式に表して考えたり伝え合ったりすることができるようになっており、優れている。</p> | <p>○単元学習の見通しを持たせることができるよう、冒頭で自ら課題を見い出す活動を行っている。また、めあての前後にキャラクターのセリフを適宜設けておくことで、児童自らがめあてを導くことを示したり、既習の見方・考え方を活用しやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○常に使いたい見方・考え方はキャラクターで、問題ごとに使い分けられるものは「ひらめきアイテム」で設定し活用できるように工夫されている。4年生以上の巻末「数直線の図のかき方」では、問題場面を数直線図に表現して式を求める力を身に付けることができるよう工夫されている。</p> | <p>○単元の導入の「はてなを発見」で問題発見をストーリーで示し、「導入問題」に取り組んだ後、「つながりの？」で興味関心を持続させて次の学習に進んでいけるよう工夫されている。また、セリフを設けることで、既習事項を想起し、それを基に解決の方法を考えたり、答えを見積もる態度を育てることができるよう工夫されている。</p> <p>○見方・考え方を扱う典型的な場面で「考え方モンスター」を提示しており、考えたりまとめたりする際に使うことができるよう工夫されている。また、3年生以上には「図や表を使って問題を考えよう」が設定されており、問いを図や表に表す方法を提示することで、問題解決に当たって、系統的に学習ができるようになっており優れている。</p> | <p>○「どんな学習がはじまるかな？」で問いを見つけるとともに、見方・考え方を働かせ、「なるほど！」でまとめた後、新たな問い「だったら！？」につなげて学びを深めていくような学びのサイクルを位置付けており、問題発見力や解決力、追及力を育てることができるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭の「算数で使いたい見方・考え方」や毎時の「なるほど！」では、キャラクターのセリフで見方・考え方を表現し、以降の学び合いの場面でもそれらの言葉を使って学び合えるようになっている。また、2年生や3年生では、テープ図と数直線の見方・書き方、演算決定のときの活用の仕方を指導する準単元を設けたり、巻末に「学びの手引き」を掲載したりして、思考・表現の道具として定着できるよう工夫されている。</p> | <p>○「どんな問題かな」で問題を知り、これまでに学習したことなどを生かして、児童が自ら問いや見通しを立てる様子を例示することで見通しを持ちながら主体的・協働的に問題解決に取り組める展開となるよう工夫されている。</p> <p>○価値付けたい見方・考え方にはマーカーを付して強調し、キャラクターのセリフとして表現されているほか、2年生以上には「見方・考え方を深めよう」の単元を設定し、図や表などに表して考える問題に対して、図や表、式に表して考えたり伝え合ったりすることができるよう工夫されており、優れている。</p> | <p>○既習事項の確認ができる「次の学習のために」の後に「どんな問題かな」、「考えよう」、「学び合おう」、「ふりかえろう」の4ステップで展開し、さらに「めあて」の近くに「見方・考え方」を示すことで、児童自らが見通しを持って、筋道を立てて考えたりすることができるよう工夫されている。</p> <p>○めあての近くには、見方・考え方が示されており、数学的な表現や言語活動が充実するよう工夫されている。また、4年生以上の巻末の「よみとろう あらわそう」では、言葉、数、式、図など数学的な表現の相互関連を整理する内容ははじめ、テープ図や数直線図の読み方、書き方について、系統的に整理し、児童が図を使いこなせるよう工夫されている。</p> |

【選定の観点3】

児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

| 発行者名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 東京書籍                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 4 大日本図書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 11 学校図書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 17 教育出版                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 61 啓林館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 116 日本文教出版                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>○巻頭には、「学びのとびら」で学習の進め方やノート作りの仕方が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっているほか、「今日の深い学び」で自分と他者の考えを比較・検討し、多様な考えに触れることで、自分の考えをより最適なものに変容させるような手立てにもなっており工夫されている。</p> <p>○日常生活での活用を意図した「いかしてみよう」に加え、算数・数学の楽しさを体験させる「つないでいこう 算数の目」が設定されており、既習事項の活用問題に加え、次学年や中学校での数学への接続を意識した発展問題を設定するなど、探究的・発展的な学びに繋がる工夫がなされており、優れている。</p> <p>○デジタルコンテンツが利用できる箇所に「Dマーク」を示し、問題のシミュレーションや書き順、図の書き方などの動画、ワークシートをはじめとした様々な資料を視聴することができるほか、発展的・補充的な練習問題にも取り組むことができるよう工夫されている。</p> | <p>○巻頭には、「算数の学び方」で学び合い方やノートの書き方、話し方や聞き方等が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっている。また、「じっくり深く学び合おう！」では、ページをめくることが解決方法や話し合いの様子が見える作りになっており、解決の手がかりを児童自ら粘り強く考えることができるほか、多様な手がかりを児童自らが選択することができるよう工夫されている。</p> <p>○発展ページの「ふくろう先生のなるほど算数教室」や「読みとる力をのぼそう」では、算数を利用した様々な身の回りの事例や算数に関わる社会の問題、SDG s について紹介されており、既習事項を基にした探究的・発展的な学びに繋がるよう工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツが利用できる箇所に「ウェブコンテンツマーク」を示し、問題のシミュレーションや図の書き方などの動画、前学年までの学習内容の動画などを視聴することができるほか、発展的・補充的な練習問題にも取り組むことができるよう工夫されている。</p> | <p>○巻頭には、「みんなと学ぼう！算数の学び方」として算数科における学び方やノートの書き方、また、「算数で見つけたい！考え方モンスター」として算数科の学習で必要な見方・考え方等が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっている。また、他者との対話が想定される場面では、対話の場面のイラストを示し、話し合いながら学習を進めることをイメージしやすいよう工夫されている。</p> <p>○身の回りのことから算数を想起することを促す「なるほど算数」や、SDG s と関連して社会的現象を捉える「算数をつかって」が設定されており、既習事項を基にした探究的・発展的な学びに繋がるよう工夫されており、さらに各課題において、項目に基づいて自己評価ができるように設定されており、優れている。</p> <p>○デジタルコンテンツが利用できるように「二次元コード」を適所に掲載し、図の書き方や計算の仕方、問題のシミュレーションや前学年までの学習内容の動画、資料やインターネットサイトなどを視聴することができるほか、発展的・補充的な練習問題にも取り組むことができるよう工夫されている。</p> | <p>○巻頭には、「みんなで算数をはじめよう！」で、学習の進め方や話し合い方、ノートの書き方等が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっている。また、単元1～3で学び方のモデルページが示されており、多様な考えのつなげ方、広げ方、深め方を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○学習した内容が日常生活で生かされる場面があることを示唆する「学んだことを使おう」や、日常の場面が題材となっている「算数ワールド」が設定されており、既習事項を基にした探究的・発展的な学びに繋がるよう工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツが利用できる箇所に「まなびリンク」を示し、問題のシミュレーションや動画の視聴など、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができ、自分で繰り返し確かめたりすることができるよう工夫されている。</p> | <p>○巻頭には、「教科書の使い方」や「算数のとびら」で学習の進め方や話し合い方、ノートの書き方等が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっている。また、全ての主問題において、「めあて」と「まとめ」を明示するとともに、登場人物の対話場面を明示することで主体的・対話的な学びを促す手立てとなっており、工夫されている。</p> <p>○単元末の「学びをいかそう やってみよう」では、算数の学習が日常生活で生かされていることに気付くとともに、算数の良さを感じ、活用への意欲を高める活動が設定されているほか、学年末の「わくわくSDG s」では、今日的な社会課題について算数を使って取り組むことを促すなど、探究的・発展的な学びの手立てとしてよく工夫されており、優れている。</p> <p>○デジタルコンテンツが利用できる箇所に「二次元コード」を適所に掲載し、問題のシミュレーションや図の書き方などの動画、解説動画や練習問題のヒントなどを視聴することができるよう工夫されている。</p> | <p>○巻頭には、「さあ、算数の学習をはじめよう！」で学習の進め方やノート作り、教科書の使い方等が示されており、主体的な学習を進める手立てとなっている。また、「自分で みんなで」では、自分の考えを伝え合い、話し合って学び合う様子を示すことでイメージできるよう工夫されている。</p> <p>○「使ってみよう」や「算数ジャンプ」では、日常生活の中に単元の学習を生かす場面があることが示唆されており、既習事項を基にした探究的・発展的な学びに繋がるよう工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツが利用できる箇所に「二次元コード」を適所に掲載し、動画やアニメーション、考えるためのヒントなどを視聴することができ、工夫されている。</p> |



【選定の観点4】

数学的に考える資質・能力の育成に向け、身に付けた知識や技能を活用する場面を取り入れるなど数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動が展開しやすいこと。

| 発行者名                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 東京書籍                                                                                                                                                                                                                                | 4 大日本図書                                                                                                                                                                                                                                     | 11 学校図書                                                                                                                                                                                                                     | 17 教育出版                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 61 啓林館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 116 日本文教出版                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>○各単元の導入場面には、児童の対話から単元全体の課題を発見する工夫がされており、問題発見・解決的な学習が展開しやすい工夫されている。</p> <p>○単元末には、「いかしてみよう」や「たしかめよう」、「つないでいこう 算数の目」として学習の総仕上げが設定され、特に「つないでいこう 算数の目」では、各単元で働かせた数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返る活動を取り入れるなど、大切にしたい数学的な見方・考え方が可視化できるよう工夫されている。</p> | <p>○各単元の導入に、日常生活から児童自身が疑問や課題を見出し、主体的に取り組めるような題材をイラストで提示するなど、問題に対して見通しを持ちやすい構成になっており、工夫されている。</p> <p>○「算数たまてばこ」では、これまでの学習内容を活用できる問題が設定されているほか、「ひらめきアイテム」では、数学的な見方・考え方を記入しながら児童自らで作成するシートが付属されているなど、いずれも数学的に考える資質・能力を育む手立てとなっており、工夫されている。</p> | <p>○各単元の導入場面では、既習事項を生かし、日常生活や身近な場面などから問題発見する「？を発見」が設定されているため、問題発見・解決的な学習が展開しやすくなっており、工夫されている。</p> <p>○数学的な見方・考え方を獲得させるため、本文中のセリフや「算数で見つけたい！考え方モンスター」のページを設け、どのような視点で考えればよいかが示されているが、高学年での示唆には誘導的すぎる箇所があり、思考が深まりづらい面がある。</p> | <p>○「はてな」、「なるほど」、「だったら」という児童の思考の流れで学習が構成されているほか、見通しを持って学習を進めることができるよう設定されているため、問題発見・解決的な学習が展開しやすくなっており、工夫されている。</p> <p>○「算数を使って考えよう」では、身に付けた数学的な思考力を生かして考える活動が設定されている。さらに、「算数のミカタ」で各領域を貫く数学的な見方を提示し、また、「いつも大切にしたい算数の考え方」で数学的な考え方を引き出す言葉が提示されているため、数学的に考える資質・能力を育む手立てとなっており、工夫されている。</p> | <p>○単元の冒頭に日常生活や既習の学習と関連付けて、児童自らが課題意識や見通しを持って学習に取り組める場面が設定されているほか、日常生活から問題を見出すなどの数学的活動が積極的に取り入れられ、「めばえ」「めあて」「まとめ」「たしかめよう」「ふりかえろう」と問題発見・解決的な学習が展開しやすくなるようになっており、優れている。</p> <p>○「算数のとびら」では、考えを伝える時の説明の仕方がまとめられ、筋道立てた説明やポイントを押さえて聞くことが提示されている。また、「算数で使いたい考えの進め方」では既習事項の考え方が紹介されているほか、「学びを深めよう」では、筋道を立てて考える力の伸長に向けた思考法が提示されるなど、数学的な見方・考え方を働かせながら学びを深め、数学的に考える資質・能力を育成できるようになっており、優れている。</p> | <p>○結果や方法の見通しを立てたり、考えたことを話し合ったりするための着眼点を「算数で使いたい見方・考え方」や児童のセリフで示されているほか、複数の考え方から、その問題解決に使える考え方を選ぶ活動も取り上げられており、問題解決に至る過程が工夫されている。</p> <p>○数学的な見方・考え方の手がかりとして「算数で使いたい見方・考え方」が示されているほか、見方・考え方をを使って説明する活動「どうしてがいえるかな」が設定されており、数学的に考える資質・能力を育む手立てとなっており、工夫されている。</p> |

【選定の観点5】

単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

| 発行者名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 東京書籍                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 4 大日本図書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 11 学校図書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 17 教育出版                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 61 啓林館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 116 日本文教出版                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>○単元冒頭の「単元プロローグ」で既習事項を振り返ることで定着度を確保できるようになっており、さらに単元末には、単元で働かせた数学的な見方・考え方を振り返り、価値付けする「つないでいこう算数の目」や、巻末に既習事項の「ふりかえりコーナー」が設定されているなど、系統性・発展性に配慮した構成となっており、工夫されている。</p> <p>○他教科との関連がある学習についてはマークを付すとともに、「算数でよみとこう」ページでは、防災や環境教育など現代的な教育課題に関連した話題が取り上げられており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮・工夫されている。</p> <p>○1年生①は別冊のA4中綴じで、教科書に直接書き込みができるほか、ブロックを置きながら学習できるなど、入学当初の学習がしやすい工夫がされている。また、算数の学習を振り返る「算数のしあげ」を6年生最後の単元として設定するとともに、「中学校体験入学コース」を設け、中学校に関連する</p> | <p>○巻末にこれまでの学習が身に付いているかチェックできる「〇年の復習」が設定されているほか、巻頭には、数学的な見方・考え方を集めた「ひらめきアイテム」が示されており、系統性・発展性に配慮された構成となっており、工夫されている。</p> <p>○他教科との関連がある学習にはマークが付されているほか、算数の有用性を取り扱ったコラム等が適所に掲載されており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮・工夫されている。</p> <p>○1年生①は別冊のA4中綴じで、ブロックを置きながら学習できるほか、書き込みしやすい大きな枠の用紙が使用されている。また、入門期において、短時間で行うことのできる活動や友達と関わる活動、生活科等と合科で扱える活動が多く設定されているほか、「中学校での数学ではこんなことを学ぶよ」を5・6年生に設定するなど、中学校への接続が工夫されている。</p> <p>○裏見返しに「先生、保護者のみな</p> | <p>○学習内容を「ふりかえろう つなげよう」として、領域ごとにまとめて統合的に捉え、次の学びへの興味・関心につなげている。また、上巻には前学年で見つけた見方・考え方を示すなど、系統性・発展性に配慮された構成となっている。</p> <p>さらに、単元末には「？をかいけつ」「つなげたいな」を設定し、新たな疑問を促す工夫がなされている。</p> <p>○「算数をつかって」では、環境保全、国際理解など現代的な教育課題に関連した内容を取り上げること、他教科との関連付けがなされており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮・工夫されている。</p> <p>○1年生の入門期では、就学前施設で慣れ親しんだ絵本のように文字や数字の表記を最小限にすることで、課題に抵抗感なく関わられるよう配慮されている。また、別冊「中学校へのかけ橋」を設定し、6年間の学びが「見方・考え方」をもとに総まとめされているとともに、数学の内容にも触れるなど、中</p> | <p>○単元末の「学んだことを使おう」や学年末の「算数を使って考えよう」では、日常的な場面を想起させる問題が設定されている。さらに、巻末には既習事項を振り返る「学びのマップ」が参照できるなど、系統性・発展性に配慮された構成となっており、工夫されている。</p> <p>○単元ははじめの「どんな学習がはじまるかな？」では、他教科の学習と関連した場面や日常の場面から単元の内容に入る工夫がなされており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮・工夫されている。</p> <p>○1年生の入門期では、就学前の体験を踏まえ、生活科との連携を図り、児童の気付きから学習をスタートできるよう工夫されている。また、6年生最後の特設教材「Let's Try」では数学につながる教材にも触れるなど、中学校への接続が工夫されている。</p> <p>○裏表紙に「先生方・保護者の皆様へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p> | <p>○既習事項や日常生活から学びが展開できるよう、単元開始時には「じゅんぴ」が設定されているほか、巻末には既習事項を確認することができる「学びをつなげよう」が示されているなど、系統性・発展性に配慮された構成となっており、工夫されている。</p> <p>○他教科に関連する内容や環境保全、食育、国際協力、防災等の題材が取り上げており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮・工夫されている。</p> <p>○1年生の「すたあとぶっく」は別冊のA4中綴じで、教科書に直接書き込みができるとともに、ブロックを置いての操作がしやすく、写真を示すことで幼児期の体験を生かしながら学習に移行できるよう工夫されている。また、「数学へのとびら」マークで算数と数学のつながりを示したり、「6年のまとめ」で中学校との学習内容の関連を図った問題を取り上げるなど、中学校への接続が工夫されている。</p> <p>○裏表紙に「先生・保護者の方々へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p> | <p>○単元に入る前の問題演習のページ「次の学習のために」では、既習事項との関連が明記されているほか、巻末には既習事項を整理した前学年までに学習したことが示されているなど、系統性・発展性に配慮された構成となっており、工夫されている。</p> <p>○他教科に関連する内容や伝統文化、環境保全、国際理解、福祉、ESDやSDGs等の題材が取り上げられており、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮・工夫されている。</p> <p>○1年生①「かずやかたちでたのしく」では、保育園や幼稚園での体験と算数の学習内容を関連付けた問題が示されているなど工夫されている。また、6年生の「もうすぐ中学生」では、数学について取り上げるとともに、中学校に関連する内容にはマークを付すなど、中学校への接続が工夫されている。</p> <p>○裏表紙に「先生・保護者の方々へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p> |

|                                                                                                        |                                                                |                                                                    |  |                         |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--|-------------------------|--|
| 内容にはマークを付すなど、中学校への接続が工夫されている。<br>○裏表紙に「保護者の皆様へ」として、保護者へのメッセージが掲載されているほか、見返しにデジタルコンテンツの利用や感染症対策も掲載している。 | さまへ」として、保護者へのメッセージや、「おうちで算数」として、家庭での生活の中でできる活動を掲載したページを紹介している。 | 学校への接続が工夫されている。<br>○「算数の学び方」や巻末に「先生と保護者の方へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。 |  | として、保護者へのメッセージが掲載されている。 |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--|-------------------------|--|

#### 【選定の観点6】

基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

| 発行者名                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 東京書籍                                                                                                                                                                    | 4 大日本図書                                                                                                                                                                                                      | 11 学校図書                                                                                                                                                                                                            | 17 教育出版                                                                                                                                         | 61 啓林館                                                                                                                                                                                        | 116 日本文教出版                                                                                                                                                          |
| ○「学びのとびら」や「今日の深い学び」では、他者の様々な考えを受け入れながら、問題解決の過程でお互いの考えを検討し合う場面を示しており、他者の考えを尊重する態度の育成に繋がる配慮がなされている。<br>○登場するキャラクターの性別を明確にしない、男女の言葉遣いを区別しないなど固定的なイメージがない表記になっており、配慮・工夫されている。 | ○巻頭の「算数の学び方」や適所に設定された「ふりかえろう」において、他者の考えを聞き、良さを認める大切さを掲載し、他者の考えを尊重する態度の育成に繋がる配慮がなされている。<br>○メインキャラクターに外国にルーツをもつ児童を設定しており、また、白杖を持った人、盲導犬を連れた人や車いすを使っているイラストや点字に関する問題などを掲載するとともに、髪形や服装などに男女の偏りがないよう配慮・工夫がされている。 | ○「ノート名人になろう」では、友達の考えの良いところをノートに書くことや、対話の場面で自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりすることを示すことで、他者の考えを尊重する態度の育成に繋がる配慮がなされている。<br>○登場するキャラクターを男子2人、女子2人にし、紙面に登場する比率や役割、話し方などについて偏りがないよう工夫するとともに、服装などについても固定的なイメージで区別することのないよう配慮・工夫されている。 | ○「友だちのノートを見てみよう」の中で、友達のノートの良いところを見つけたり、考えを取り入れたりするなど、学び合いの場面が設定されており、他者の考えを尊重する態度の育成に繋がる配慮がなされている。<br>○男女の言葉遣いや服の色など、固定観念で性別を特定しないよう配慮・工夫されている。 | ○巻頭の「算数のとびら」において、他者の考えを尊重し、協働してより良い考えを追究する学習の進め方が示されており、他者の考えを尊重する態度の育成に繋がる配慮がなされている。<br>○男女の役割や言葉遣い、服装の色など固定的なイメージで表現しないよう工夫されており、さらに共通キャラクターに他国ルーツの児童や車いすなどを掲載するなど、多文化共生社会の視点にも配慮・工夫がされている。 | ○「算数ノートをつくろう」や「自分で みんなで」では、友達の考えの良いところを見つけようと促すことで、他者を尊重して思いやる心や他者から学ぶ姿勢を育む配慮がなされている。<br>○登場キャラクターが性別・人種・障がいの有無に関係なく、協力しながら課題解決に向かう様子が示されるなど、多文化共生社会の視点に配慮・工夫されている。 |

【選定の観点7】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

| 発行者名                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 東京書籍                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 4 大日本図書                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 11 学校図書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 17 教育出版                                                                                                                                                                                                                                                           | 61 啓林館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 116 日本文教出版                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>○B5版で、6年生以外は分冊であるほか、文字の大きさ、字間や行間とも適切で読みやすい。また、図表も適切かつ正確で使いやすい。</p> <p>○造本は堅牢で、専用の軽量で丈夫な用紙を採用しているほか、1年生で使用する分冊はA4版でサイズが大きく、綴じ方も児童に使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した再生紙・植物油インキを使用している。また、分冊・合冊の構成とし、持ち運びの際の児童の身体的な負担軽減に配慮されている。</p> <p>○視認性を一層高めたUD教科書体を採用しているほか、全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインされている。</p> | <p>○B5版で、文字の大きさ、字間や行間とも適切で読みやすく、レイアウトも工夫されている。また、図表も適切かつ正確で使いやすい。</p> <p>○造本は堅牢で、1年生のみ分冊があり、A4版でサイズが大きく、綴じ方も児童に使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した紙と、児童のアレルギーに配慮した植物油インキを使用している。表紙は丈夫で汚れにくくなるように加工され、光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理がされており、配慮されている。</p> <p>○専門家の監修の下、UDフォントの使用やCUDを踏まえた配色などの工夫を行っている。</p> | <p>○幅広いA/B版で、6年生以外は分冊であるほか、文字の大きさ、字間や行間とも適切で読みやすく、レイアウトも工夫されている。また、図表も適切かつ正確で使いやすい。</p> <p>○造本は堅牢で、表紙・裏表紙にはコーティングが施されており、硬化する粘着剤を使用して高い強度を保つとともに、本がノド元まで開く柔軟性を有した作りになっており、児童に使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した紙と植物油インキを使用しており、配慮されている。</p> <p>○UDフォントを基本にし、数字は目立つように少し太いものを使用している。また、全てのページについて、色覚特性をチェックし、見やすく区別しやすい色やデザインを採用している。</p> | <p>○B5版で、2～4年生が分冊であるほか、文字の大きさ、字間や行間とも適切で読みやすく、配色やレイアウトも工夫されている。また、図表も適切かつ正確で使いやすい。</p> <p>○造本は堅牢で、軽量な紙を使用しているほか、表紙には抗菌加工を施しており、適切な造りである。</p> <p>○環境にやさしい再生紙と植物油を使用しており、配慮されている。</p> <p>○見やすさ・読みやすさに配慮したUDデジタル教科書体を使用しているほか、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいCUDにも配慮している。</p> | <p>○B5版で、5・6年生以外は分冊であるほか、文字の大きさ、字間や行間とも適切で読みやすく、配色やレイアウトも工夫されている。また、図表も適切かつ正確で使いやすい。</p> <p>○造本は堅牢で、1年生で使用する分冊は、A4版でサイズが大きく、綴じ方も児童に使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しているほか、表紙・裏表紙には、汚れにくく丈夫な加工が施されており、配慮されている。</p> <p>○教科書体を基本とし、読みやすいUDフォントを採用している。</p> <p>また、色覚特性については、全ページについて専門機関の確認を受けているほか、見分けることが困難な配色は避け、模様や文字情報を加えるなどの配慮がなされている。</p> | <p>○B5版で、5・6年生以外は分冊であるほか、文字の大きさ、字間や行間とも適切で読みやすく、レイアウトも工夫されている。また、図表も適切かつ正確で使いやすい。</p> <p>○造本は堅牢で、5・6年生にはしおりの紐が付いており、適切な造りである。</p> <p>○環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しているほか、表紙には、耐水性や堅牢性を考慮して、表面加工が施されており、配慮されている。</p> <p>○教科書体やゴシック体を基本とし、視認性の高いUDフォントを採用しているほか、見やすいCUDにも配慮している。</p> |

※UDフォント：ユニバーサル・デザインフォント、CUD：カラー・ユニバーサル・デザイン